



庭木づくりは
人付き合いのように
真心を込めて丁寧に



植木職
かわしま しんいち
川島 信一 さん
川島松川園

〈受賞者コメント〉

「1本の木を4～5年かけて剪定しながら形を整え、庭園木の生産をしています。人と同様、木にもそれぞれ特徴があります。常に丁寧に作ることを心がけ、一生現役で活躍し、枝曲げなどの繊細な植木技術を後世に伝えていきたいです。」

《評価された取り組み》

三瀬植木組合の組合長を務め、業界文化・技術の普及や地域貢献に尽力。三瀬の黒松の生産に長年携わり、樹木一本一本の性質に合わせて芽を摘む時期や方法を調整するなど、それぞれを美しい形に仕上げる技術を研さんしている。農林水産祭参加の出荷品評会における農林水産大臣賞をはじめ、数多くの賞を受賞。



川島さんの仕事道具 (枝曲機、大鋏、剪定鋏)